

議論していただきたい事項

1. 「研修内容の体系表」の考え方

○体系表と有明のコースとの関係

- 体系表の第 3 階層はコースを意識しており、1～3 枠で 1 コースとする。

注) 第 3 階層の 1 枠で 1 コース分の内容に満たないものがある。

- 体系表の第 4 階層は単元を意識しており、1～3 枠で 1 単元とする。

注) 第 4 階層の 1 枠で 1 単元分の内容に満たないものがある。

○体系表と構造化表の関係

- 体系表の第 4 階層の枠に構造化表の中項目を紐づけする。
- 構造化表の中項目を分類・整理して第 5 階層を章のまとめとし 6 階層を章の内容とする。

○体系表と学習目標の関係

- 現在単元(第 4 階層)ごとに学習目標を設定している。今後、第 5 階層(単元の章のまとめ)を設定する場合に、この単位で学習目標を設定。

○体系表と標準テキストの関係

- 体系表の第 1～4 階層の枠ごとにパワーポイントを 1 枚策定して当面の標準テキストとする。

2. 「研修内容の体系表」の妥当性

○第 1～4 階層までの枝ぶりと枠の内容

3. 各コースの研修内容の範囲